

第11回



すべては夢見ることから始まった……

会場

新得町・新内ホール

会場直通: 0156-64-3161 (会期中のみ)

<http://kuusounomori.com/>

新得駅より車で約15分

会期

2006

9/15-18

fri

mon



チケットは、主要プレイガイド等で取り扱いしています。

映画1回券前売1,000円(当日1,500円)

映画通し券前売3,000円(当日4,000円)

\*ライブは別料金となります。

[主催] SHINTOKU空想の森映画祭実行委員会・北海道新聞社

# 空想の森映画祭

SHINTOKU

【お問い合わせ】 SHINTOKU 空想の森映画祭事務局 TEL・FAX 0156・64・3923

ようこそ、希望の森へ。  
11st shintoku kuso no mori film festival





Free 入場無料

# 9/15 Fri

- 19:30~  
オープニング・パーティー  
■パーティー参加費■  
¥1,000-
- <ワインとチーズと語らいと>

- 20:00~  
<ラッシュ>映画「空想の森」Free  
by 田代陽子

映画「空想の森」  
■2007年3月完成予定  
■カラー／150分(予定)／ビデオ  
監督／田代陽子  
撮影／田代陽子・坪原悠介  
録音／岸本祐典  
音響／久保田幸雄  
制作／藤本幸久  
<ラッシュ上映>  
1回目／9月15日・20:00~  
2回目／9月16日・21:00~

昨年2005年2月から2006年の2月まで1年間ほど撮影をして、この6月くらいからようやく編集にはいりました。

新内(北海道新得町)で野菜や蕎麦をつくっている農家の宮下善夫さん、新得共働学舎(北海道新得町)で野菜をつくっている山田聰美さんの仕事を中心に約4時間のテープをました。日常のなんてことないシーンがなんていいんだろと感じたり、自分の体を使って働く姿はかっこよすぎがしい。この広い世界で出来た嬉しさを感じながら、私は慣れない上に調子の悪い機械に振り回されながら編集している日々です。今回はいくつかのまとめたシーンをお見せします。

監督 田代陽子

日本で撮影されたインド映画上映  
+  
ティーチイン

製作 ●羽根三千代さん (from 愛知)

「Love in Japan」

(実はジャパンプレミア上映) 2時間 20分  
VCD 2枚 字幕なし／監督 アクラム・シェーク (愛知県在住)。

「刈谷 オン・ザ・ムーブ」

(愛知万博一園一市町村フレンドシップ記録映画) / 監督 アクラム・シェーク (愛知県在住)。23分 DVD

●インド映画観賞映像特集

・日本で撮影されたインド映画について、資料映像を用意して、北のマサラ代表みずさわ氏によるトークを行なう。

<http://kuusounomori.com/>…ウェブサイトでさらに詳しい情報がご覧になれます。

■通し券で映画と講演の全てにご入場いただけますが、あがた森魚・ライブは別料金です。■1回券又は通し券の半券を提示すればライブは前売り料金でご入場いただけます。■<Free>の表示のあるプログラムは入場無料です。

ゴミの減量にご協力ください。

●マイ・カップ、マイ箸をご持参頂くなど、ゴミの減量にご協力ください。

# 9/16 Sat WORLD MUSIC NOW

●10:00~11:45

「ベルリン・フィルと子どもたち」

2004年ドイツ／カラー／上映時間：1時間45分

活動として子供たちがバレエ曲を踊る「ダンスプロジェクト」を始動させる。出身国や文化の異なる250名の子供たちが6週間に及ぶ猛練習を経て、ベルリン・アリーナの大舞台に挑んだ!それまでクラシックに全く縁がなく練習にも身が入らなかった子どもたちが、振付師ロイストン・マルドームの熱い指導のもと、20世紀を代表するバレエ音楽《春の祭典》の強烈なリズムと一緒に、舞台の上で今まで探せなかつた「自分」を見つけて行く!

2004年2月ベルリン映画祭のワールドプレミアで、観客を熱狂と感動の渦に巻き込んだドキュメンタリー『ベルリン・フィルと子どもたち』が遂に日本上陸!

「子供たちに、もっとクラシックの楽しさを感じてもらいたい」それはサー・サイモン・ラトルの呼び掛けから始まった。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の指揮者として芸術監督に就任したラトルは新たな活動として子供たちがバレエ曲を踊る「ダンスプロジェクト」を始動させる。出身国や文化の異なる250名の子供たちが6週間に及ぶ猛練習を経て、ベルリン・アリーナの大舞台に挑んだ!それまでクラシックに全く縁がなく練習にも身が入らなかった子どもたちが、振付師ロイストン・マルドームの熱い指導のもと、20世紀を代表するバレエ音楽《春の祭典》の強烈なリズムと一緒に、舞台の上で今まで探せなかつた「自分」を見つけて行く!

2004年2月ベルリン映画祭のワールドプレミアで、観客を熱狂と感動の渦に巻き込んだドキュメンタリー『ベルリン・フィルと子どもたち』が遂に日本上陸!

●13:00~14:45

「モロ・ノ・ブラジル」

2002年／ドイツ・フィンランド・ブラジル／105分

ポルトガル語・英語／35mm／カラー

このサントラはブラジル音楽のバイブルだ!ミカ・カウラスマキ監督が出会った“ブラジルで生きる人々”的情熱と音楽の旅。ブラジル音楽のルーツと多様性を象徴するオリジナル・サウンドトラック(ライナーノーツ 中原仁)

監督のミカが辿ったその旅路はなんと4000キロ。ペルナンブコ、パバーア、オリオ・デ・ジャネイロといった3つの州を経由。サンバやボサノヴァにとどまらず、ポップ、ファンク、ロック、ラップ、宗教音楽といった様々な音楽の形態。そして地方色豊かなミュージシャン、歌手、ダンサー達との素晴らしい出会いと別れ…。音楽に生きる人々の人間味溢れるインスピリュートと大迫力のライブで織る1時間45分の旅。

山形国際ドキュメンタリー映画祭2003特別招待作品

2002年ベルリン国際映画祭シナマ部門正式出品

2002年ブラジル映画祭正式出品

2002年サンフランシスコ国際映画祭正式出品

2002年カンヌ国際映画祭正式出品

●15:00~16:54

「リンダ リンダ リンダ」

2005年／日本／114分／カラー／DTS

文化祭前日に、突如バンドを組んだ女子高生たち。コピーするのはブルーハーツ。しかもボーカルは韓国からの留学生!?本番まであと3日、4人の寄り道だけの猛練習が始まった!  
文化祭の浮かれた熱気の中、初期衝動を爆発させ文女子高生たちへ笑って、泣けて、キュンとする21世紀型青春バンド・ムービーの誕生!

●キャスト：ベ・ドゥア／前田亚季／香椎由宇／関根史郎(BaseBall Bear)／三村恭代／湯川瀬音／山崎優子(m-e-ism)／甲本雅裕／松山ケンイチ／小林且弥／赤井出惠介／三浦诚己／リリィ藤井かほり／近藤公輔／ピエル瀧／山本清司／山本剛史

●監督：山下敦弘 ●脚本：向井康介／下和雅子／山下敦弘

●プロデューサー：福岸洋之／定井勇二

●音楽プロデューサー：北原京子 ●撮影：池内義浩 ●照明：大坂卓夫 ●録音：郡弘道 ●美術：松尾文子 ●編集：宮島竜治 ●バンドプロデュース：白井良明

●主題歌：「君わらしない歌」(ザ・ブルーハーツ)

●音楽：James Iha ●サントラ盤：ユニバーサル ミュージック

●特写：東野翠織

第1回日本映画エンジェル大賞受賞作品

製作：「リンダ リンダ リンダ」パートナーズ

●18:30~20:30

《ライブ》あがた森魚

■前売／2,000円 ■当日／2,500円



1948年 北海道留萌市に生まれ

1970年 自主製作 LP「著音盤」(茅瑞懐堂)を鈴木慶一、細野晴臣らと録音

1971年 第2回全日本フォーク・ジャンボリーにて「赤色エレジー」を歌う翌年「赤色エレジー」でメジャーデビュー

1987年 林海象監督デビュー作・映画「夢見るようになりたい」をプロデュース

1994年 監督第2作・映画「オートバイ少女」(ガロシネマ)劇場公開

1995年 あがた森魚がディレクターとなり「函館山ローブケイ映画祭」

スタート、99年より「函館港イルミナシオン映画祭」と名称を変更

1999年 映画「港のロキシー」2年がかりで完成、劇場公開

2001年 あがた森魚初のベスト盤「20世紀漂流記」をキティよりリリース

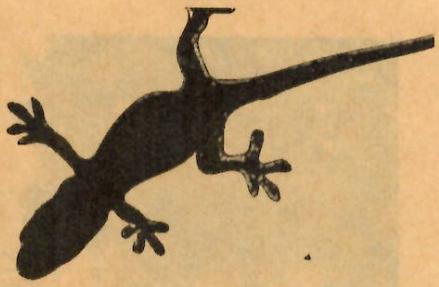
あがたさんは第1回目からずっと毎回欠かさず来てくれています。皆勤賞です。毎回来て下さるだけでなく、いつも僕たちを励まし、時には尻を叩いて、この映画祭と一緒に育てて来て下さいました。いわばスタッフの一員と言うとちょっと失礼なのですが、ゲストと呼ぶのはあまりによそよそしい…今ではあがたさん抜きで映画祭は語れない。ありがとう、あがた森魚さん!これからもずっとずっと来てください。

●21:00~21:45 <ラッシュ> 映画「空想の森」by 田代陽子 Free

●22:00~レイトショー <北のマサラナイト in 新得映画祭> Free



今年の空想の森映画祭の柱は2本、土曜日はWORLD MUSIC NOWと題して音楽をテーマにした映画を3本、音楽が人生を変えることもあるということを実感する一日です。日曜日はWORLD PEACE NOWと題して戦争の今を見つめます。日本にも韓国にも米軍の基地があります。平和憲法を掲げる日本の米軍基地から戦闘機が飛び立って行きます。戦後61年目、このことをどう受け止めますか？



■亀井文夫・プロフィール

1908年、福島県生まれ。レニングラード映画専門学校卒。1933年PCL(のちの東宝)入社。「上海」「怒濤を讃て」等の記録映画を発表。会社・軍部と対立しながらも、その作品にみられるように、亀井文夫は戦前戦後の日本の記録映画の先達であり、進歩的社会派の立場を貫いた作家である。

劇映画でも「戦争と平和」「女の一生」等を撮り、その傑出した演出力と独自の作風で、日本映画史上不朽の位置を占めた作家である。1987年没。

# 9/17 Sun WORLD PEACE NOW

●10:00～映画解説／藤本幸久

●10:10～11:16 「戦ふ兵隊」<亀井文夫監督作品>

「戦ふ兵隊」・1939年・東宝文化映画部(上映禁止)完成時80分／現存短縮版65分

■撮影／三木茂・瀬川順一 ■音響／藤井慎一 ■音楽／古間裕而 ■製作／松崎啓次

亀井自身は「戦闘映画ではない」と繰り返しているにもかかわらず、多くの文献やメディアで「戦闘映画」の代表として取り上げられる不思議な亀井の代表作。撮影の三木茂、撮影助手の瀬川順一、録音の藤井慎一とともに亀井は、虎口攻略作戦に参加する部隊に従軍して、見たものあまりの撮えた。軍部が期待した戦闘映画ではなかったため、上映不許可となりお蔵入り。フィルムは行方不明で、永く忘れられた幻の映画だった。1976年に「ドキュメント昭和」(朝日放送)を制作中の日本映画新社スタッフが偶然ある映画会社のダビングステージのスクリーン裏から発見、一躍「幻の戦闘映画発見」と時の話題になった。ナレーションを廻し、映像、現場音、音楽、字幕だけで構成、亀井の最高傑作と言われる。

●11:30～11:59 「基地の子たち」<亀井文夫監督作品>

「基地の子たち」・1953年・モノクロ16mm・29分 東京キノ・プロダクション ■製作／青藤謹香・宇田收 ■撮影／井上秀・牛山邦一・菊地周・瀬川浩・坂爪翠郎 ■音響／片山耕男 ■音楽／原太郎 ■脚本集／亀井文夫・田中徹・富沢隆雄・仲保春枝・山崎義教 「日本人立人禁止」の軍事基地はますます増えて七百以上。その面積は全国全部に匹敵し、日本の児童を包囲していく。北の基地・千歳、山村の基地・山形県戸沢村、都市の基地・横須賀と立川、石川県・内灘とそれぞれの基地の現況を子どもの視点から描く。劇映画からドキュメンタリーに戻って初めての作品で、多くのシーンが劇映画仕立てとなっている。B班カメラを担当した菊地(山形)周が亀井と組んだ初作品。

●12:15～13:10 「流血の記録・砂川」<亀井文夫監督作品>

「流血の記録・砂川」・1956年・モノクロ35mm・55分 日本ドキュメントフィルム社 ■製作／大野忠 ■撮影／武井大・植松永吉・城所敏夫・動使河原宏 ■音響／奥山重之助・大橋鉄矢・大野松雄 ■音楽／長沢勝俊 1955年9月連戦の記録『砂川の人々・妻死なず』(1955年)、11月開戦の記録『砂川の人々・妻死なず』(1955年)に続く砂川開戦映画の第三作。1956年(昭和31年)10月12日は53名の測量隊が現れ、1300名の武装警官が殺到。労働組合員、全学連がスクランブルを組み警官隊を阻止、双方278名の負傷者がが出た。13日は5000人の労働組合員、全学連が勤務され闘争は最高潮、警官隊はビケ隊に襲いかかり、重軽傷者はビケ隊倒44名、警官隊80名に及んだ。世論は警官隊の暴行と政府の無政策に憤慨、政府は14日夜、突然ラジオで測量中止を発表、地元は歡喜と興奮に沸きかえり勝利のデモが繰り広げられた。

●13:30～15:41 「Marines Go Home～辺野古・梅香里・矢白別」

(カラー・D・V・132分)企画：北海道アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会(北海道AALA) ■製作：森の映画社 ■監督：藤本幸久 ■撮影：寺卓矢・藤本幸久・宮崎利春・西丸榮次 ■録音：久保田幸雄 ■脚本：藤本幸久 ■ナレーション：影山あさ子 ■三線・唄：金城葉姫匠 ■翻訳：金成進 ■通訳：金俊河 ■英語版字幕：加藤静子 今年戦後61年目、沖縄県辺野古～韓国梅香里～北海道矢白別、3カ所を結んで見えてくる戦争の「今」、マスコミでは決して伝えられることのなかった「戦争の今」を知ることで、いま世界中で起きている戦争とも、過去の戦争とも無関係ではないということを思い知らされます。

ト ヨサ

●16:00～18:00 「都 裕史さん講演」～韓国・平沢(ピョンテク)からの報告とビデオ～

都裕史(Do Yoosa:ト・ユサ)1957年長崎県佐世保市生まれの在日朝鮮人25世(父1世、母2世)。幼稚園から大学まで日本の教育を受ける。大学生の頃に民族運動を始める。卒業後反戦反核運動にも関わる。1996年8月韓国と沖縄との米軍基地反対運動の連帯作りに参画、その後沖縄の人々と共に1998年「米軍基地反対運動を通して沖縄と韓国民衆と連帯する会」を立ち上げる。

2000年5月、初めて祖国大韓民国に入国を果たし、その後は韓国や沖縄を往来しながら米軍基地反対運動の連帯に向けて人士の交流作りを進める。一方で韓国での米軍問題を翻訳しながらインターネットを通して発信することで情報の共有に努める。2002年7月に韓国政府によってパスポートの更新を拒否され、再び祖国への往来権を剥奪されるが、韓国での裁判に勝利して2004年1月にパスポートを奪還する。

●19:00～21:28 「送還日記」<キム・ドンウォン監督作品>

韓国/2003/日本語字幕/35mm/148分/ピクターモノラル 原題:送還 宣伝・配給:シグロ・シネカノン

●韓国ドキュメンタリー映画の代表作、「送還日記」

現代韓国の記録映画を代表する「ブレン映像」のキム・ドンウォン監督は一般的にドキュ1世代と称され、韓国現代史の性格に映画を通じて強烈な問題を提起しながら良心の声を明確に発する作品群を作り上げて来た。キム・ドンウォン監督以後韓国ドキュメンタリー作家たちは社会的、政治的な不幸が如何にして個人の苦痛へと転化されてきたのかという問題に真摯に取り組みながら加工されない眞の感動の瞬間を捕捉して来た。

●22:00～レイトショー『みんな、空でつながっている～イラク拘束事件・今井紀明君と出合って～』Free

2004年春、イラク邦人拘束事件でマスコミが注目した18歳の少年、今井紀明君。帰國後の彼を待っていたのは、「自己責任論」という日本中からのハッキングだった…。その時、彼は何を思ったのだろうか?ひとりの大学生が、同じ若者の視点で彼を見つめた半年間の記録。(約14分) +作者の樋口明日香さんとのトークセッション。

# 9/18 Mon

●10:00～14:30「ルート181」

2003年(ベルギー・フランス・イギリス・ドイツ)

270分(4時間30分)ペルサイ語・アラビア語

監督:ミシェル・クレイフィ、エイアル・シヴァン

字幕:日本語・英語両字幕、日本語字幕:西村美須寿

山形国際ドキュメンタリー映画祭 2003 最優秀賞受賞  
ふたりの監督は、国連決議181号が定めた境界線を南から北にたどる旅に出る。

そして、途中で出会った人々に何の予備知識もなしにマイクを向ける。

●15:00～16:00 Free

「ルート181～トークセッション」

パレスチナ連帯・札幌の代表松元保昭氏を迎えて上映終了後、パレスチナ連帯・札幌から代表の松元保昭さんをお迎えして、トークセッションを行います。映画に引き続き、多数のご参加をお待ちします。

「パレスチナ連帯・札幌」は、9・11後のジエニン虐殺に衝撃を受け広河隆一写真展を開催した動きの中から、イラク戦開始直前にパレスチナ国評議会のライバーリッドが来日し、アイヌ民族と交流したこときっかけで生まれました。以来、パレスチナ問題の啓発を中心に「響きあう パレスチナとアイヌ」など北海道独自のパレスチナ連帯の途を探り続けています。

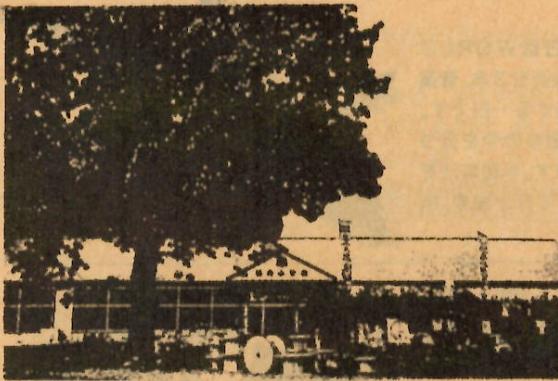
●16:30～さよならパーティー



Thank you for

All My Relations……

ありがとう！

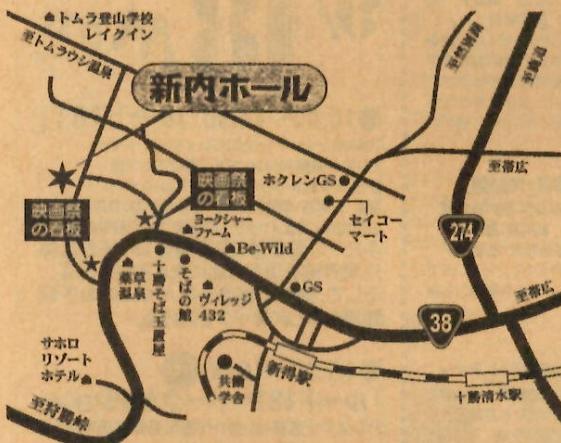


北海道上川郡新得町、なんと面積の90%が森林だというこの町の旧新内(にいな)小学校、校庭に大きな大きな柏の木がある小学校の校舎で、この祭りは始まった。1996年が第1回、昨年10回目を迎え、今年は第11回。行政主導ではない、勿論業界主導でもない、文字通り手弁当の映画祭。スタッフたちが知恵と力と夢を持ち寄って、毎回ギリギリのところで実現して來た。手弁当だからこそその面白さがあり、歓びがある、そうでなければ10年も続くまい。

職人も10年叩き上げれば年季があける。手弁当の素人集団でも、10年もやれば手に馴染んでくる。今年11回目～START AGAIN! さあ、もういいっべん!! ちょうど楽しみ方も板についてきたところだ。この楽しみを、面白さを独り占めしようというケチな根性は持ち合わせていない。どう?一緒にやらないか! 東大雪の懐、旧新内小学校で「SHINTOKU空想の森映画祭」。

すべては夢見ることからはじまった……

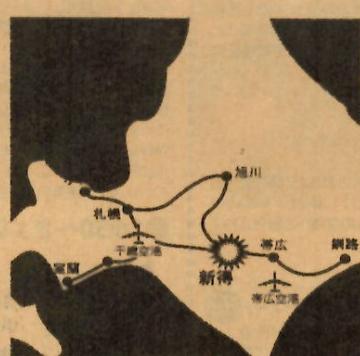
**STAFF募集中! ..... 090-6216-1528(のた)**



## ACCESS

千歳空港より▶  
JR特急で南千歳乗り換え  
約2時間

帯広空港より▶  
JR特急で南千歳乗り換え  
バスで約40分  
帯広駅からJR利用約1時間  
札幌から▶  
JR特急で約2時間、  
車で約4時間  
旭川から▶  
JR利用約3時間、  
車で約2時間半



# TICKET

	前売	当日
映画1回券	1,000円	1,500円
映画通し券	3,000円	4,000円
ライブ	2,000円	2,500円

\*中高生半額、小学生以下無料

\*映画通し券にはライブは含まれません。

\*映画券の半券を提示すると、ライブが前売り料金になります。

## 前売券取扱所

新得町●新得町教育委員会☎0156-64-5111

●屈足総合会館☎0156-65-2111

●相馬商店☎0156-64-5055/本通り南1-5

●Be-Wild☎0156-64-5200/R38号沿い

帯広市●チケットぴあ☎0155-27-3550/藤丸5階

●勝毎サロン☎0155-27-0077/藤丸7階

●FLOW MOTION☎0155-21-5506/西5南13

●珈琲園バニカム☎0155-25-5570/西5北2

●リサイクルブック福田店☎0155-48-4407/西12南34

音更町●のんびり屋☎0155-30-8022/字下士幌

上士幌町●あんだらや☎0156-4-24589/北居辺

苔小牧市●シネマトーラス☎0144-37-8482/本町2-1

旭川市●こども富貴堂☎0166-25-3169/7条8丁目

●旭川映画村☎0166-23-3623/2条9丁目

滝川市●滝川映画サークル☎0125-24-7286/河野宅

南富良野町●人来庵(ニングル)☎0167-52-3108/幾寅

札幌市●4プラブレイガイド☎011-251-5574/中央区南1西4

●シアターキノ☎011-231-9355/豊平6丁目南3グランドビル2階

●これからや☎011-812-4915/白石区菊水3条1-6-12

●みんなたる☎011-756-3600/北区北14西3

江別市●ドラマシアターども☎011-384-4011/2条2丁目7-1

## 宿泊施設

### 新内周辺

●薬草温泉ホテルかりかち☎0156-64-5956

●YORKSHIRE FARM☎0156-64-4948

●ヴィレッジ432☎0156-64-4320

●ウエスタンビレッジサホロ☎0156-64-4111

### 新得町中心部

●新得旅館☎0156-64-5714

●宮城屋旅館☎0156-64-5058

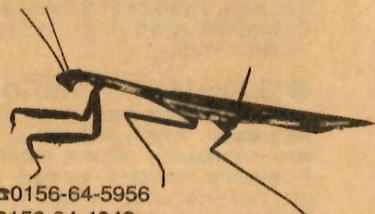
●民宿サホロハウス☎0156-64-5800

●新得温泉ホテル☎0156-64-5837

### 東大雪

●国民宿舎東大雪荘☎0156-65-3021

●オソウシ温泉☎0156-65-3338



## 映画祭のお客様への特別料金

\*予約の際に映画祭参加の旨を伝えて下さい。

トムラ登山学校レイク・イン

新得町宇置足546番地☎0156-5-2141

○1泊朝食付-----5,000円 (税別)

◆新内ホール前広場でテントを張ることができます。